

評価シート（年度評価）

名古屋市短歌会館の管理運営状況

1 基本情報

＜所管局：観光文化交流局＞

指定管理者	ホームックス株式会社		
主な業務内容	名古屋市短歌会館の管理		
評価対象期間	令和5年4月～令和6年3月	指定管理期間	平成30年4月～令和7年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 施設利用	(1) 法令等の遵守	法令等を遵守しているか。	○	
	(2) 利用料金	利用料金は適切に管理されているか。	○	
2 職員体制	(1) 職員体制	職員の配置等体制及び研修が適切に保たれているか。	○	
3 維持管理	(1) 施設の維持管理	建物・設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(2) 再委託業務	再委託した業務が適正に履行されているか。	○	
	(3) 備品等物品の管理	備品等物品が適切に管理されているか。	○	
4 サービス	(1) 利用実績	当初の計画通りの利用実績が達成されているか。	○	
	(2) 事業計画実施状況	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(3) 提案事業	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(4) 広報・PRの実施	各種媒体による情報提供が適切に実施されているか。	○	
	(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	利用者の満足度、苦情・要望を受けて、迅速に対応できているか。	○	
5 経費	(1) 執行状況	経費が適切に管理されているか。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
短歌会館の施設外での主催事業も実施しており、短歌会館の知名度向上及び短歌・俳句の普及活動に努めている点が評価できる。また、休館日を第1月曜日のみとし利用可能日を増やし、利用促進に寄与している点も評価できる。

施設の現状

短歌会館

施設の現状	施設概要							
	市民文化の向上を図るために設置された施設です。具体的には、集会室や和室等施設の貸出や、短歌文化の裾野を広げる主催事業を行っています。							
	市の収支状況(千円)（5年度決算(見込)額）							
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金
	18,776	0	18,776	5,549	112	13,115	18,776	
	特記事項							

管理運営指標の状況	取組状況					
	指標	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	利用率(全室の平均)	%	77.2	82.2	86.6	78.7
	収支率	%	18.9	23.4	29.5	31.9
	特記事項					

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載

評価シート（指定期間を通じた評価）

名古屋市短歌会館における指定管理者の管理運営実績

1 基本情報

<所管局：観光文化交流局>

指定管理者	ホームックス株式会社					
主な業務内容	名古屋市短歌会館の管理					
評価対象期間	平成 30 年 4 月～令和 6 年 3 月		指定管理期間	平成 30 年 4 月～令和 7 年 3 月		

2 管理運営状況（評価結果の推移）

評価項目	評価区分						特記事項
	平成 30 年 度	令和 元 年 度	令和 2 年 度	令和 3 年 度	令和 4 年 度	令和 5 年 度	
1 施設利用							
(1) 法令等の順守	○	○	○	○	○	○	
(2) 利用料金	○	○	○	○	○	○	
2 職員体制							
(1) 職員体制	○	○	○	○	○	○	
3 維持管理							
(1) 施設の維持管理	○	○	○	○	○	○	
(2) 再委託業務	○	○	○	○	○	○	
(3) 備品等物品の管理	○	○	○	○	○	○	
4 サービス							・利用率 97.7%で対計画値比 2.2 ポイント増、対前年度比 0.9 ポイント増。非常に高い利用率を達成 (H30) ・利用者意見に迅速に対応 (H30)
(1) 利用実績	◎	○	—	—	—	○	
(2) 事業計画実施状況	○	○	○	○	○	○	
(3) 提案事業	○	○	○	○	○	○	
(4) 広報・PR の実施	○	○	○	○	○	○	
(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	◎	○	○	○	○	○	
5 経費							
(1) 執行状況	○	○	○	○	○	○	

年度ごとの総合評価（所管局のコメント・特記事項等）	
平成 30 年度	S N S を中心に施設の空室情報やキャンセル情報の提供を積極的に行い、当日利用やキャンセル後の新たな利用の獲得に繋げることができた。また、アウトリーチ事業を増やしたことで、短歌会館の認知度が向上し、新たな利用団体を獲得することができた。この結果、施設利用率は計画値・前年度実績値ともに上回る97.7%となり、非常に高い利用率を達成した。 利用者から設置要望の多かった貸出備品を新規で備え付ける、地下展示室の臭気対策として脱臭機を設置するなど、利用者意見に対する改善意識が高く対応が迅速であることが、高い利用者満足度の維持に繋がっており評価できる。
令和元 年度	利用率向上のため、第1月曜日を除く月曜日の臨時開館を継続して実施するとともに、S N S を中心に施設の空室情報やキャンセル情報の提供を積極的に行った。定期利用団体の解散などの影響もあり、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の1月末時点での利用率は94.3%と計画値・前年度実績値ともに下回る結果となったが、引き続き高い利用率を維持した。 施設事業では、アウトリーチ事業を積極的に実施した。名古屋市内のみでなく名古屋市近郊エリアでも実施することで、短歌会館の認知度向上に努めるとともに、短歌や俳句等の文化振興に寄与した。
令和 2 年度	第 1 月曜日を除く月曜日の臨時開館を継続して実施するとともに、S N S を中心に施設の空室情報やキャンセル情報の提供を積極的に行った。 施設事業では、「名古屋市短歌会館文化祭」を動画収録により実施。施設内での放映やウェブサイトで配信することで、利用者の家族や友人等、より多くの方に見てもらうことができ、利用者のモチベーションの向上となるとともに、短歌会館の認知度向上に繋がった。 なお、利用実績については、新型コロナウイルス感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和 3 年度	第 1 月曜日を除く月曜日の臨時開館や、HP・SNS での施設の空室情報提供、近隣で活動する団体への PR 等を継続的に実施した。 提案事業の「小中学生向け競技かるた」では、百人一首（競技かるた）と和歌（短歌）の魅力、楽しさを体験できる講座を小中学生向けに実施し、気軽に短歌・和歌に触れる機会を提供することができた。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和 4 年度	休館日を第 1 月曜のみとすることで利用可能な日を多く作り、利用促進に寄与している。 また、中部日本歌人会などと連携し、全国の歌人等にも PR を行った結果、

	他県在住の歌人が名古屋で公演を行う際の練習や調整の場としての利用に繋がるなど、短歌・俳句関係の利用促進を図った点が評価できる。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和5年度	短歌会館の施設外での主催事業も実施しており、短歌会館の知名度向上及び短歌・俳句の普及活動に努めている点が評価できる。また、休館日を第1月曜日のみとし利用可能日を増やし、利用促進に寄与している点も評価できる。

3 利用状況等

具体的な取組みや成果等
新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度に利用率が大幅に下がったものの、感染症流行以前は、非常に高い水準で利用率を維持した。 また、第一月曜日を除く月曜日を臨時開館させ、利用促進を行っている点が評価できる。

4 収支状況等

具体的な取組みや成果等
効率的な施設運営に努め、概ね計画通りの収支率を達成した。

5 利用者の意見や満足度等

利用者の意見や満足度等の内容・推移
利用者目線の管理を行うなどサービス面の強化を図り、利用者満足度調査では概ね「満足」の回答を得た。

6 総合評価

所管局のコメント・特記事項等
アウトリーチ事業を実施しており、短歌会館の知名度向上及び短歌・俳句の普及活動に努めている。 また、利用者から要望の多い貸出備品の導入など、利用者の意見を取り入れた施設運営ができています。